

本人視点を盛り込んだ簡易版認知症ケアパスの作成

<経過>

- H29年度に諫早市認知症ケアパス作成。
- 地域住民、医療、介護関係者向けとして作成。
- 認知症対策推進会議にて「情報量が多いため簡易的な物が必要」との意見あり。
- H30年度実施の「認知症の人の心の声アンケート」の内容を盛り込むこととなる。
- 令和元年より案を作成し、認知症対策推進会議にて意見聴取し、修正。
- 令和2年度に地域包括支援センター・認知症疾患センター活用依頼。意見聴取し、修正。
- 令和3年度に居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・調剤薬局へ活用依頼。意見聴取し、修正。
- 令和4年度から簡易版諫早市認知症ケアパス確定。地域関係機関へ配布予定。

<目的>

本人が使いやすい認知症ケアパスを作成し、空白の期間への対応を図る。

- *認知症の症状経過に合わせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスが
うけられるのか、地域ではどのような支援があるのかをまとめる

<対象>

認知症の人、本人および、その家族

<作成にあたり留意する点>

留意する点	対応策
本人、家族が読みやすい、わかりやすい内容	<ul style="list-style-type: none"> ・字体を統一、字の大きさ、濃淡 ・高齢者が見やすい背景色で字を強調 ・わかりやすい表現を使う
認知症ケアパスと連動する	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアパス(共通部分)を基調とする
認知症診断直後、不安を持つ方が前向きに取り組める構成	<ul style="list-style-type: none"> ・「認知症と共に生きる希望宣言」を強調 ・「認知症とは」を独立させて説明

<普及方法>相談機関、配布等協力機関については配布中。今後、地域関係機関へ配布予定。

